

平成 27 年度 埼玉県・さいたま市国民保護実動訓練の実施結果について

緊急対処事態(大規模テロ等)に備え、県、市及び関係機関相互の連携や対処能力の向上を図るとともに、県民の皆様に国民保護制度の普及を図るため、実動訓練を実施しました。

1 概要

(1)実施日時

平成 27 年 7 月 15 日 水曜日 13 時 15 分～15 時 30 分 (開式、閉式含む)

(2)実施場所

埼玉スタジアム 2002、埼玉高速鉄道「浦和美園車両基地」

(3)参加機関

埼玉県、埼玉県防災航空センター
さいたま市(共催)
陸上自衛隊(第 32 普通科連隊、第 1 特殊武器防護隊、第 1 飛行隊)
埼玉県警察(警察本部、浦和東警察署)
さいたま市消防局、川口市消防局
さいたま市立病院、自治医科大学附属さいたま医療センター、川口市立医療センター
日本赤十字社埼玉県支部、さいたま赤十字病院
さいたま市立高等看護学院、さいたま赤十字看護専門学校
埼玉スタジアム 2002 公園管理事務所
埼玉高速鉄道株式会社
県内市町村、消防職員等

(4)参加者数

528 人

(5)訓練想定

埼玉スタジアム 2002 で化学剤(塩素、ルイサイト)が散布される。
スタジアム内での救出救護が行われるさなか、埼玉高速鉄道「浦和美園車両基地」内にある鉄道車両内で爆発物らしき不審物が発見される。

(6) 訓練内容

- ア スタジアムにおける初動体制の確立
 - 情報伝達、観客の避難と誘導、事情聴取、立入規制
 - 不審物(有毒化学物質)の検知と回収
 - 負傷者の救出救助、除染、トリアージ、救護、心のケア
 - 救急車、防災ヘリによる負傷者の搬送
 - 現地調整所の設置と運営
- イ 浦和美園車両基地における初動体制の確立
 - 情報伝達
 - 不審物(爆発物)の処理
- ウ 緊急対処事態対策本部の設置

2 今回の訓練の特徴

- (1)2020年東京オリンピック・パラリンピック会場の一つであるさいたま市で開催しました。
- (2)同時多発テロが発生した場合を想定して訓練を実施しました。
- (3)初めて実際の鉄道車両を使った爆発物処理訓練を実施しました。
- (4)気温 30 度以上の炎天のもとで訓練を実施しました。

3 訓練の様子

国民保護実動訓練風景



発災(化学剤散布)



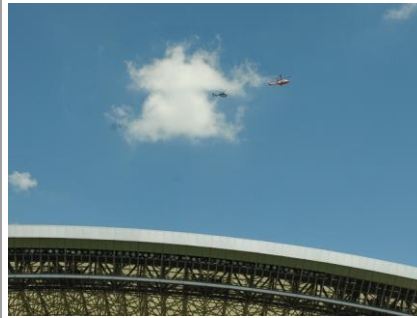
発災(化学剤散布)



化学剤により倒れこむ負傷者



警察による避難誘導



ヘリによる上空偵察



消防による救出活動



消防による救出活動



警察による救出活動



消防による化学剤の特定



消防による負傷者の水的除染活動



負傷者のトリアージ



救護活動



自衛隊による救護



防災ヘリでの搬送



救急車両による搬送



自衛隊による汚染地域の除染



車両内での爆発物処理



車両からの爆発物除去

・ 国民保護とは

武力攻撃事態やテロ攻撃から国民の生命、身体及び財産を保護し、国民生活等に及ぼす影響を最小にするため、国、自衛隊、警察、消防、自治体等が連携し、国民の生命と財産を守ることです。

国民保護法は、平成 16 年 6 月 14 日に成立し、県の責務(国民の避難や救援の実施)が定められています。

埼玉県では、円滑に国民保護措置を実施できるよう、平成 18 年 1 月に国民保護に関する埼玉県計画を作成しています。

・ 緊急対処事態とは

武力攻撃(我が国に対する外部からの組織的・計画的な武力の行使をいう。)に準じる手段を用いて多数の人を殺傷する行為が発生した事態又はそのような行為が発生する明白な危険が切迫していると認められるに至った事態で、国家として緊急に対処することが必要なものをいいます。

お問い合わせ

[埼玉県 危機管理防災部 危機管理課](#)

〒330-9301

埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1 危機管理防災センター2 階

TEL:048-830-8131

FAX:048-830-8129